

クリエイティブアイランド中之島
創造的な実験島

国内
最大規模の
創造
ネットワーク
始動

Creative
Island

Naka

noshima

<http://nakanoshimalab.jp>

2022.

2.2 wed. -

13 sun.



事業趣旨

「クリエイティブアイランド中之島」による
都市のリブランディング

大阪市北区に位置する「中之島」は、堂島川と土佐堀川に挟まれた東西約3kmの中州です。

水都大阪を象徴する“中之島”は、美術館やコンサートホール、科学館、国際会議場などの多様な文化施設や歴史的建造物、企業の高層ビル群と、公園や水辺環境が共存する他に類を見ない都市の中州であり、パリのシテ島、ベルリンのムゼウムス・インゼルのように世界に誇る国際的な文化資産に満ちています。

「クリエイティブアイランド中之島」は、14機関による国内最大規模の創造ネットワーク組織が、中之島エリア全体をユニークベニューとしての「創造的な研究所」に見立て、様々なクリエイティブコンテンツを開発・創出していきます。

幕開けとなった2020年度のスタートアップ企画では、プラットフォームメディアとしてのウェブサイトを立て、9つのナイト&デイプログラムを展開しました。本格始動となる2021年度はプロジェクトを象徴するロゴの作成と共にミーティングポイント（共通スタンド）を各館ロビーに設置し、さらには、2022年2月開館の大阪中之島美術館を会場に、実来場を伴うシンボルシンポジウムを開催することによって、クリエイティブアイランド中之島の取り組みを内外に発信します。

新型コロナウイルスによって世界が一変しましたが、文化と経済の両輪による持続可能な都市のリブランディングによって、ニューノーマル時代にふさわしい、“世界中の人々が訪れ集うクリエイティブなまち中之島”を目指します。これからの創造的な未来にご期待ください。

委員長からのメッセージ

「クリエイティブアイランド中之島実行委員会」は2019年に設立しました。しかしながら本格始動の2020年、新型コロナウイルスの影響により世界が一変し、経済・文化が多なる影響を受け困難を極める状況において、改めて本実行委員会の意義を見つめ、先行きが見えない今こそ、未来を志向するための組織間の垣根を超えた共創が重要である、と決意を新たにしました。

中之島は世界に冠たるクリエイティブアイランドとなるポテンシャルを有しており、このような組織ができるに至ったことは、今後の躍進に向けた一里塚となるものです。単体の施設がネットワーク化されれば、1+1が2ではなく大きなシナジー効果が生まれ、一つの面となって発展していくでしょう。今後は、何を実践していかに継続させるかが課題ですが、学術・芸術・技術の三つの「術」が交差することによって、はじめて文化というものが醸成されると確信しています。

国内最大級の創造ネットワークによるさまざまな取組を通じたコロナ新時代への提言とともに、2025年大阪・関西万博やSDGsの実現に向け、国全体の成長を牽引する都市大阪の発展に寄与することを目指します。

クリエイティブアイランド中之島実行委員会
委員長 西尾章治郎（大阪大学総長）



現在の中之島（協力：中之島まちみらい協議会／写真提供：朝日新聞）

〈参画施設〉



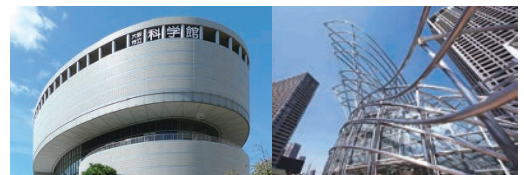
a. 大阪府立国際会議場

b. 大阪大学中之島センター



c. 大阪中之島美術館

d. graf



e. 大阪市立科学館

f. 国立国際美術館



g. 中之島香雪美術館

h. フェスティバルホール



i. 大阪市中央公会堂

j. アートエリア B1



k. 大阪市立東洋陶磁美術館

l. こども本の森 中之島

事業コンセプト

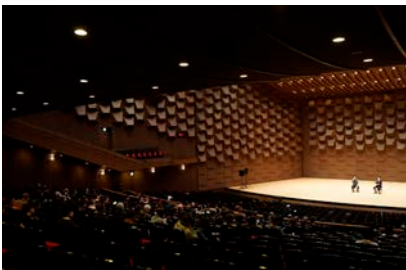
創造的な実験島 “中之島”

- 3つのキーワード
- ① コラボレーション（企画立案から共同で行う）
 - ② エクステンジ（各館の資源を交換する）
 - ③ リレー（テーマや時間、空間などの連続性、回遊性をもたせる）

①中之島施設プロモーション

中之島の人・文化資産
 エクステンジによる
 新価値創造

14の文化施設や機関と連携して各機関が有する固有の資源（人・コレクション・歴史・取組み）を活かし、その資源を施設間で交換することで、新たな価値を掘り起こします。



フェスティバルホール音響体験スペシャルツアー

②中之島プロモーション

中之島の都市風景
 アーティストによる
 創造的実験

中之島のユニークベニューを舞台に、国内外で活躍するアーティストがリサーチを経て作品を創作。都市風景とアーティストの創造性の化学反応によって、中之島の魅力を世界に発信します。



宇川直宏× Salyu「NAKANOSHIMA PERFORMING SCAPÉ」

③プラットフォームメディア

中之島の間・人・出来事
 プラットフォームメディアによる
 芸術体験実験

オンラインとオフラインを組み合わせたプラットフォームメディアを構築し、ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求・実践します。



写真家・野口里佳氏によるメインビジュアル

※ 2020年度アーカイブ視聴はこちら→ URL : nakanoshimalab.jp

■事業概要

2月のコア期間に開催する
 シンボルシンポジウム&スペシャルウィークプログラム

2月のコア期間には、2022年2月2日に開館する大阪中之島美術館を会場にシンボルシンポジウムを開催し、ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求すべく、ユニークベニューを舞台とした12のスペシャルプログラムを連続開催します。

実施期間：2022年2月2日（水） - 2月13日（日）

開催方法：実会場および一部オンライン配信

ラインナップ

1 2/2 [水] こども本の森
 おとなのナイトツアー&トーク

2 2/3 [木] 宇川直宏ディレクション
 「NAKANOSHIMA PERFORMING SCAPÉ」

3 2/4 [金] 人間浄瑠璃『新・鏡影綺譚』関連企画
 「森村×勸十郎+森村×正剛 対談」

4 2/5 [土] デザインコレクションを語る
 ギャラリーツアー&トーク

5 2/6 [日] 近現代の諸写真+絵画と巡る中之島
 リバークルーズツアー

6 2/7 [月] ミーティングポイントから読み解く中之島

7 2/8 [火] 中之島ラグジュアリーナイト/
 クルージング&トーク

8 2/9 [水] 川床から眺める中之“島”の魅力

9 2/10 [木] サイエンスアゴラ in 大阪
 ラウンドテーブル「Dialogue for Life ~コロナ禍を生きる私たちの未来に向けて~」

10 2/10 [木] 色と形をさぐる
 -企画展「色と形のふしぎ」関連トークイベント-

11 2/11 [金] クリエイティブアイランド中之島 - 創造的な実験島 -
 シンボルシンポジウム
 中之島の“いま”と“みらい”
 ~都市の創造性、持続可能なネットワークモデル~

12 2/12 [土] ギャラクティック運輸 presents
 京阪バザール電車

13 2/13 [日] みんなでつくろうなかのしマップ

■事業概要

クリエイティブアイランド中之島 - 創造的な実験島 -

シンボルシンポジウム 「中之島の“いま”と“みらい”」

～都市の創造性、持続可能なネットワークモデル～

中之島は魅力的なコンテンツが集積する“まち”でありながら、大阪の中でもいわゆる「キタ」や「ミナミ」と呼ばれる地域に比べて実はあまり知られていないエリアでもあります。「クリエイティブアイランド中之島」は本格始動となる本年、開館まもない大阪中之島美術館にて、多彩な分野からゲストを迎え“みらい”、“まなび”、“くらし”をテーマとした3部構成のシンポジウムを開催します。あらゆる視点から中之島の今を紐解き、都市の創造性と持続可能なネットワークモデルによって未来を描きます。そして、2025年開催の大阪・関西万博を見据え、将来を考える手がかりに本事業の憲章的なビジョンについて、対話による創出を試みます。

第一部 13:00～15:00

“みらい”の中之島

第1部はメインシンポジウムとして、大阪の文化特区を目指す中之島の可能性について対話を繰り広げます。「“みらい”の中之島」ではCIMAM（国際美術館会議）会長で森美術館館長の片岡真実氏をゲストに迎え、国際的な観点からの都市創造や国際事業の意義、コロナ禍における芸術文化の課題と展望について、本事業の西尾委員長をはじめとする実行委員メンバーと共に中之島の将来構想を描きます。

第二部 15:15～16:45

“まなび”の中之島

中之島は大人のリカレント教育の場はもとより、こども本の森 中之島の開館に伴う未来の担い手たちに至るまで、様々な人々に開かれた“知と感性・好奇心を育む島”として期待されています。「“まなび”の中之島」ではSTEAM教育家で大阪・関西万博のプロデューサーでもある中島さち子氏をゲストに迎え、中之島の教育の場としての可能性について対話を繰り広げます。

第三部 17:00～18:30

“くらし”と中之島

歴史的建造物や文化施設、企業ビル、そして公園や水辺など文化資産に満ちた島である中之島は、消費者や一般生活者の視点で見るとどのような存在でしょうか。「“くらし”と中之島」では、関西のまちの情報を深く知るSAVVY編集長の竹村匡己氏と朝日新聞の榊井政則氏をゲストに迎え、メディア、パブリシティーの観点から中之島の日常における創造性について対話します。

日時：2022年2月11日(金・祝) 会場：大阪中之島美術館
料金：1,000円 定員：100名(要事前申込・先着)
申込・配信URL：<https://nakanoshimalab.jp>

登壇者

片岡 真実

(森美術館 館長、国際美術館会議 会長)

西尾 章治郎

(実行委員長、大阪大学 総長)

島 敦彦

(実行委員会、国立国際美術館 館長)

菅谷 富夫

(実行委員会、大阪中之島美術館 館長)

福島 伸一

(実行委員会、株式会社大阪国際会議場 代表取締役社長)

登壇者

中島 さち子

(ジャズピアニスト、数学教育者、steAm Inc. 代表取締役社長)

嘉数 次人

(実行委員会、大阪市立科学館 学芸課長)

小林 仁

(実行委員会、大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長代理)

服部 滋樹

(実行委員会、graf 代表取締役社長)

登壇者

竹村 匡己

(エルマガジン社『SAVVY』編集長)

榊井 政則

(朝日新聞 大阪本社生活文化部長)

伊藤 真由美

(実行委員会、こども本の森 中之島 館長)

勝盛 典子

(実行委員会、中之島香雪美術館 館長)

岸田 文夫

(実行委員会、中之島まちみらい協議会 代表幹事)

全体進行

木ノ下智恵子

(実行委員会、大阪大学 21世紀懐徳堂准教授)

■事業概要

スペシャルウィークプログラム

2月の2週間をコア期間として、固有の資源を交換することで新たな価値を掘り起こす「エクステンジプログラム」、中之島のユニークベニューとアーティストの創造性によって都市の魅力を世界に発信する「中之島プロモーション」など、「スペシャルウィークプログラム」として12のプログラムを展開します。

実施期間

2022年2月2日(水) — 13日(日)

申込・配信 URL

<https://nakanoshimalab.jp>

主催：クリエイティブアイランド中之島実行委員会
※その他事業主体は下記に記載

program

1 エクステンジプログラム vol.1
こども本の森 中之島×大阪市立東洋陶磁美術館こども本の森
おとなのナイトツアー & トーク

登壇 伊藤真由美(こども本の森 中之島 館長)
出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館 館長)

東部エリアにある中之島通が歩行者空間となり生まれ変わりました。通りに面することも本の森と東洋陶磁美術館それぞれの館長が、中之島通のにぎわいや今後の展開について語り合います。トーク終了後はこども本の森を自由に見学し、読書をお楽しみください。

実会場

日時：2月2日(水) 18:00～20:00(受付・開場 17:45)
会場：こども本の森 中之島
料金：1,000円
定員：50名(要事前申込・先着順)
主催：こども本の森 中之島

3 中之島プロモーション
大阪中之島美術館開館記念公演人間浄瑠璃『新・鏡影綺譚』関連企画
「森村×勘十郎+森村×正剛 対談」

登壇 森村泰昌(美術家)
桐竹勘十郎(人形浄瑠璃文楽人形遣い)
松岡正剛(編集工学者、編集工学研究所所長、角川武蔵野ミュージアム館長)

大阪中之島美術館の開館記念企画である森村泰昌×桐竹勘十郎による創作公演に関するスペシャルトークを配信します。第一部は、美術と文楽があやなす創作劇の源について、第二部は、蟬丸、近松門左衛門、近世から脈打つ創造の醍醐味について、熱く語ります。

オンライン配信

日時：2月4日(金) 19:00～22:00
料金：2,000円(要事前申込)
主催：森村桐竹人間浄瑠璃プロジェクト実行委員会

5 エクステンジプログラム vol.3
大阪中之島美術館×中之島まちみらい協議会近現代の諸写真+絵画と巡る中之島
リパークルーズツアー

登壇 菅谷富夫(大阪中之島美術館 館長)
岸田文夫(中之島まちみらい協議会 代表幹事)

中之島は、近世以降に人々の営みにより発展した島です。明治・大正・昭和の中之島の絵はがきや写真、大阪中之島美術館に所蔵される絵画とともに船で中之島を回遊し、中之島の今と昔を見比べ、まちづくりとアートの観点からのトークと風景をお楽しみください。

実会場

日時：2月6日(日) 15:00～16:00(受付・開場 14:30)
会場：八軒家浜船着場集合
船上(クルージング)大阪水上バス観光船「アクア Ciel(シエロ)」
ルート：八軒家浜船着場発着(中之島1周)
料金：3,500円
定員：40名(要事前申込・先着順)
主催：クリエイティブアイランド中之島スタディーズ共同企業

2 中之島プロモーション
DOMMUNE × クリエイティブアイランド中之島

宇川直宏ディレクション

「NAKANOSHIMA PERFORMING SCAPE」

登壇 宇川直宏(“現在美術家” / DOMMUNE 主宰)
Salyu(ボーカリスト)
木ノ下智恵子(大阪大学 21世紀徳徳堂准教授)

記念すべき「中之島プロモーション」第一弾は、アーティストの宇川直宏氏とボーカリスト Salyu 氏による三部作です。近代建築、高層ビルの夜景、川から望む中之島を舞台にした映像と音楽によるクリエイションの秘話と上映を交えたスペシャル鼎談をお届けします。

オンライン配信

日時：2月3日(木) 20:00～22:00(無料・申込不要)

4 エクステンジプログラム vol.2
大阪中之島美術館× grafデザインコレクションを語る
ギャラリーツアー & トーク

登壇 平井直子(大阪中之島美術館 主任学芸員)
服部滋樹(graf 代表取締役社長)

国内有数のデザインコレクションを誇る大阪中之島美術館と、中之島を拠点に、家具・デザイン・アートなどクリエイティブな活動を展開する graf が、開館記念「超コレクション展」の会場等でデザイン作品の魅力を語ります。

実会場

日時：2月5日(土) 17:00～20:00(展覧会入場受付 16:00～)
会場：大阪中之島美術館、graf porch
料金：2,500円(展覧会観覧料含む・要事前申込)
定員：20名(要事前申込・先着順)
主催：大阪中之島美術館

6 中之島プロモーション
岡田利規× graf アーティストトーク

ミーティングポイントから読み解く中之島

登壇 岡田利規(劇作家・チェルフィッチュ主宰)
服部滋樹(graf 代表取締役社長)

国内外で活躍するアーティストによって創作コンテンツを繰り広げる「中之島プロモーション」。今年は、世界で活動する演劇カンパニー・チェルフィッチュ主宰の岡田利規氏を迎え、ミーティングポイントを活用したクリエイションの可能性を探ります。

オンライン配信

日時：2月7日(月) 19:00～20:30(無料・申込不要)

スペシャルウィークプログラム

7 エクスチェンジプログラム vol.4
大阪府立国際会議場× graf ×
コンラッド大阪×リーガロイヤルホテル

中之島ラグジュアリーナイト/
ツアー&クルージング

登壇 芳賀貴臣 (株式会社大阪国際会議場 営業部長)
服部滋樹 (graf 代表取締役社長)
福島正晴 (リーガロイヤルホテル 総支配人室 室長)
細川亜子 (リーガロイヤルホテル 総支配人室 課長代理)
山田恵以子 (コンラッド大阪 営業部副部長 婚礼統括支配人)
吉田公司 (一本松海運株式会社 営業部 課長/イベント企画室 室長)

中之島は大阪の中でも水辺に輝く夜景が魅力の一つでもあります。MICEの観点から、都市風景を活用したおもてなしの可能性について語ります。夜の中の島を船で巡り、非日常空間でのトークと景色をご堪能ください。

実来場

日時：2月8日(火) 18:30～20:30 (受付・開場 18:00)
集合場所：大阪国際会議場前港
ルート：堂島川 (大阪国際会議場前～大阪市中央公会堂前)
トーク会場：大阪府立国際会議場 12階ホワイエ
料金：3,500円
定員：40名 (要事前申込・先着順)
主催：一本松海運株式会社
クリエイティブアイランド中之島スタディーズ共同企業体

9 エクスチェンジプログラム vol.5
大阪市立科学館×大阪市立東洋陶磁美術館

色と形をさぐる

—企画展「色と形のふしぎ」関連トークイベント—

登壇 小林仁 (大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長代理)
大倉宏 (大阪市立科学館 主任学芸員)

私たちの周囲には、その特徴的な色と形から美しさや不思議さを感じる物が数多くあります。科学館の企画展「色と形のふしぎ」にちなみ、天目茶碗に見られる構造色の謎や、注目の展示品の紹介を通して、美に潜む科学を紹介します。

実来場

日時：2月10日(木) 14:00～15:30 (受付・開場 13:45)
会場：大阪市立科学館・多目的室
料金：無料
※企画展の観覧には、科学館展示場の通常入場料が別途必要
定員：25名 (要事前申込・先着順)
主催：大阪市立科学館

11 中之島プロモーション

ギャラクティック運輸 presents
京阪バザール電車

“京阪バザール電車”は、アートエリア B1 で開催中の鉄道芸術祭を記念して、走行する電車を街の通りに見立て、アーティストをはじめ様々な人・モノ・コトが来店する貸切電車です。普段は体験できない特別列車をお楽しみください。

実来場

日時：2月12日(土) 14:54～16:22 (14:00～14:30 受付)
会場：京阪電車貸切車内
(中之島駅発～樟葉駅折返し～なにわ橋駅着)
料金：一般：5,000円 (4,000円分の買物券付)
学生：3,000円 (2,000円分の買物券付)
定員：150名 (要事前申込・先着順)
主催：アートエリア B1

※実来場での観覧を予定しているプログラムは、新型コロナウイルスの感染状況により【オンライン配信】に変更となる場合があります。※各プログラムとも定員に達し次第、受付を終了いたします。※内容は予告なく変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

8 中之島プロモーション
北浜テラス×クリエイティブアイランド中之島

川床から眺める中之“島”の魅力

登壇 北浜テラス運営者の皆様
CI 中之島プロジェクトメンバー

日本で初めて川床の常設化を実現し、水辺のにぎわいを創出する「北浜テラス」。中之島の風景を川辺から眺められるカフェが点在しています。常に中之島を対岸から眺める事業者の視点から、水陸連携による今後の可能性についてお話しします。

実来場

日時：2月9日(水) 18:30～20:30 (受付・開場 18:15)
会場：MOUNT kitahama
料金：1,500円 (1ドリンク付)
定員：20名 (要事前申込・先着順)
主催：クリエイティブアイランド中之島スタディーズ共同企業体、北浜水辺協議会、水都大阪コンソーシアム

オンライン配信 2月9日(水) 18:30～20:30 (無料・申込不要)

10 エクスチェンジプログラム vol.6
JST×大阪大学×大阪市中央公会堂

サイエンスアゴラ in 大阪

ラウンドテーブル

「Dialogue for Life～コロナ禍を生きる私たちの未来に向けて～」

登壇 石黒浩 (大阪大学名誉教授、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー)
玉川弘子 (大阪商工会議所地域振興部長 兼万博協力推進室長)
熊谷晋一郎 (東京大学先端科学技術研究センター准教授) ※オンライン参加

ほか

新型コロナウイルスの影響による自粛生活や働き方の変化をきっかけに、私たちは自身の仕事や生活、価値観と深く向き合うことになりました。2年の感染拡大の長期化が私たちにもたらしたものは何か？多様な人々が語り合うラウンドテーブルを開催します。

実来場

日時：2月10日(木) 18:30～21:00 (受付・開場 18:00)
会場：大阪市中央公会堂 中集会所
料金：無料
定員：100名 (要事前申込・先着順)
主催：大阪大学 21世紀懐徳堂

オンライン配信 2月10日(木) 18:30～21:00

12 エクスチェンジプログラム vol.7
こども本の森 中之島×中之島まちみらい協議会

みんなでつくろうなかのしま

中之島は近世以降に人々の営みによりつくられ、これまで多くの歴史や文化が受け継がれてきた島です。クリエイティブアイランドを締めくくるプログラムは、未来を担うこどもたちが、これからの中之島のすがたを想像し自由な発想で描き出します。

実来場

日時：2月13日(日) 13:30～15:00 (受付・開場 13:00)
会場：こども本の森 中之島
料金：500円
定員：30名 (要事前申込・先着順)
※小学校4～6年生限定
※一組につき、付き添いの保護者は2名まで
主催：こども本の森 中之島、中之島まちみらい協議会

事業概要

プロジェクトロゴ/ミーティングポイント(サインスタンド)



Creative Island
Nakanoshima



ロゴマーク

クリエイティブアイランド中之島の実験的なプロジェクトを、水面に“たゆたう”活動体として可視化。川と川の間には浮かんだ中之島のイメージをロゴマークにし、本プロジェクトの象徴としてあらゆるシーンで活用します。

ミーティングポイント(サインスタンド)

実来場との連携を想定したミーティングポイント(サインスタンド)を参画機関及び企業ビルのロビーに設置し、来訪者の回遊を誘導することも踏まえて中之島の魅力発信を目指します。

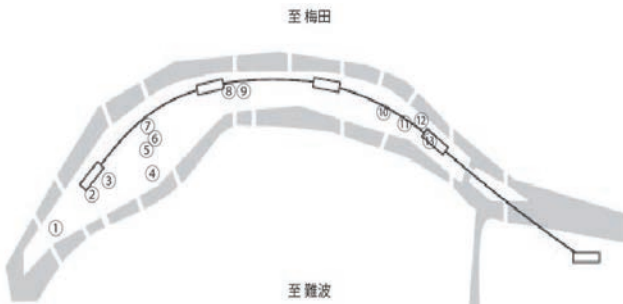
制作デザイン

graf(クリエイティブユニット)

長く中之島にスタジオを構え、クリエイティブアイランド中之島の参画機関のひとつでもあるクリエイティブユニット・grafが、岡田利規によるクリエイティブコンテンツに呼応して、共通ロゴおよび、中之島のユニークベニューに設置するためのミーティングポイント・サインスタンドを設計。



ミーティングポイント設置場所



※下記参画機関施設のロビー及び企業ビルのロビー

- ①中之島センタービル(ホテルNCB) ②大阪府立国際会議場
- ③リーガロイヤルホテル(大阪) ④graf ⑤大阪市立科学館
- ⑥国立国際美術館 ⑦大阪中之島美術館(開館後に設置予定)
- ⑧フェスティバルタワーウエスト ⑨フェスティバルタワー
- ⑩大阪府立中之島図書館 ⑪大阪市中央公会堂
- ⑫大阪市立東洋陶磁美術館 ⑬アートエリアB1

中之島プロモーション

アーティストディレクションによるクリエイティブコンテンツ



©Kikuko Usuyama

岡田利規(おかだ・としき)

「中之島プロモーション」は、中之島のユニークベニューを舞台に、国内外で活躍するアーティストのディレクションによってコンテンツを繰り広げます。今年度のゲストアーティストには、独特の言語・身体表現を通じて現代社会を捉えた作品を世界各地で発表し続ける、演劇カンパニー・チェルフィッチュ主宰の岡田利規氏を迎え、ミーティングポイントを活用した実験的なプロジェクトを展開します。

プラットフォームメディアとしてのプロモーションサイトリニューアル

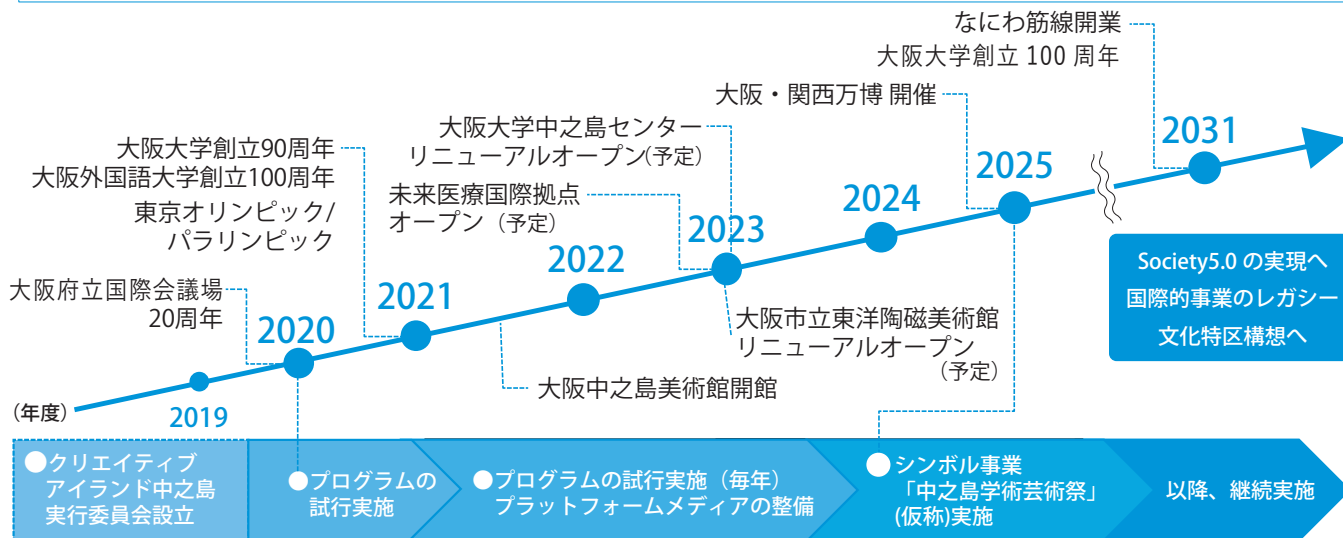
ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求すべく、バーチャルとリアルを組み合わせたプラットフォームメディアを構築し、プロモーションサイトをリニューアルしました。ポータルサイト機能を新しく追加し、中之島の当日の催しなどタイムリーな情報にアクセスできるようになりました。



将来ビジョン

シンボル事業 中之島学術芸術祭（仮称）に向けて

中之島の14の文化拠点を「文化パビリオン」に見立て、共通テーマをもとに各館の資源を活用した企画を定期的
に実施（展覧会、映像上映、レクチャー、パフォーマンス等）。さらに、中之島公園や水辺、公開空地なども含め
ることで規制緩和を推進し街一帯を芸術祭の場として変容させ、中之島エリアを我が国有数の創造的拠点とする
文化芸術特区化への機運醸成を図るとともに、国内外から人を呼び込む場としていくことを目標とします。



■ 運営組織

クリエイティブアイランド中之島実行委員会

構成団体 | 大阪府立国際会議場、大阪市中央公会堂、大阪市立科学館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪大学・ダンスボックス・京阪ホールディングス（アートエリア B1）、大阪中之島美術館、graf、国立国際美術館、こども本の森 中之島、中之島香雪美術館、中之島まちみらい協議会、フェスティバルホール

実行委員長 | 西尾章治郎（大阪大学総長）

経緯 | 2018年7月～ アートエリア B1（大阪大学・京阪ホールディングス・ダンスボックス）が、文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島」として、中之島を拠点とする文化施設と連携したツアーやトークなどを実施。

- 2019年5～7月 文化施設等の代表者らによりクリエイティブアイランド中之島実行委員会の設立に向け協議。
- 2019年8月 クリエイティブアイランド中之島実行委員会設立。
- 2019年9月～ 2020年度の事業具体化に向けて、プロジェクトチーム会議を実施。
- 2020年4月～ 令和2年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業に採択。
- 2020年10月～ 大阪市中央公会堂、こども本の森 中之島が新規参画。
- 2021年2月 スタートアップ事業（web サイト設置・コア期間プログラムの実施）始動。
- 2021年4月 令和3年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業に採択。
- 2022年2月 シンボルシンポジウム含む13のプログラムを実施。

広報に関するお問合せ

クリエイティブアイランド中之島事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階アートエリア B1 内
Tel 06-6226-4006 (12:00-19:00 / 月曜日) E-mail press@artarea-b1.jp

〈画像クレジット〉 p1: a. 大阪府立国際会議場、b. 大阪大学中之島センター、c. 大阪中之島美術館、d.graf、e. 大阪市立科学館（提供：大阪市立科学館）、f. 国立国際美術館、g. 中之島香雪美術館、h. フェスティバルホール（提供：フェスティバルホール）、i. 大阪市中央公会堂（提供：大阪市中央公会堂）、j. アートエリア B1、k. 大阪市立東洋陶磁美術館、l. こども本の森 中之島

